

福祉関係事業者、障がい者相談員、区社会福祉協議会、区役所などで構成されています。

—どのような活動をしていますか？

障がい者の視点を意識しながら、研修会やバザー、交流会などを開催しています。

研修会では、障がい者を講師とした講演や悪徳商法に遭わないためのビデオ講習、防災や自立支援法についての勉強会など、幅広いテーマを取り入れています。またミニ研修会として、メンバーがそれぞれの障がいについて話をする座談会も開催しました。これは、お互いのことを話すことで、相手の障がいに対する理解を深めようと実施したものです。

バザーは、区役所で開催される区民まつりや健康&介護予防フェアのほか、各地区のお祭りなどに出品しています。商品は、蜂蜜やせっけん



清田区障がい福祉関係者等ネットワーク会議
荒野会長

手作りの小物など、作業所で一つ一つ丁寧に作られたものです。

またバーベキューや新年会を企画

して会員同士の交流を深めるほか、12月の障害者週間(12月3日～9日)に合わせてもちつき交流会を開催しています。

交流の機会を広げたい

—活動の中でどのようなことを感じていますか？

一般的には、障がいに対する正しい認識がまだ広がっていないのが現状だと感じています。例えば、聴覚に障がいのある人は手話を使い、視覚に障がいのある人は点字を読むという固定的なイメージを持つてる人が多いです。実際には、事故などで後天的に障がい者になった人は、筆談や要約筆記、音声案内などを活用することが多く、手話や点字のみを使っているとは限りません。また介助犬を連れて人がお店に入ろうとし



携帯電話に関するトラブル解消など、さまざまなテーマで研修会を開催しています。

た時に、店員がどのように対応すれば良いかわからないため、入店を断られたケースもあるようです。

—障がいに対する正しい認識を広めるためには何が必要でしょうか？

大事なことは、障がいのある人が、できるだけいろいろな場に出て、皆さんと一緒に何かをする機会を増やすことだと思います。何度も顔を合わせて知り合いになれば、自然に声を掛け合うことができるようになるでしょう。

また一緒に見たり聞いたりふれあったりする中で、「こういう時には耳に障がいのある人はどう感じるだろう」などと、疑問や気付きが出てきます。そういった体験を重ねていくと、実は障がいのある人に対して必要以上に重大に考えなくてもいいんだなと感じると思います。

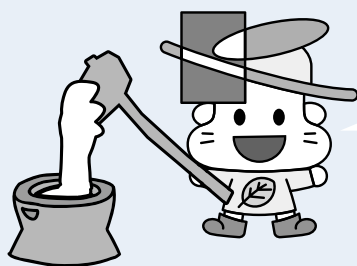
障がい者だけでなく、周囲がいろいろな場で経験することが、互いに支え合うまちづくりにつながっていくのではないのでしょうか。

—最後にメッセージをお願いします。

もちつき交流会の開催や各種イベントでバザーなどを行っています。多くの方と交流を深めたいので、皆さんぜひお越しください。

もちつき交流会を開催します！

障害者週間に合わせて、もちつき交流会を開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。(詳細は本誌区民のページ4ページをご覧ください。)



一緒にお餅をつき、
食べながら楽しく
おしゃべりしましょう！